



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月8日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 吉本 清志 (TEL) 03(5962)1119
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	30,455	17.2	2,003	19.3	2,074	19.5	1,174	13.9
26年2月期第1四半期	25,983	14.4	1,679	—	1,735	—	1,031	—

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 1,170百万円 (△14.1%) 26年2月期第1四半期 1,362百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	21.11	—
26年2月期第1四半期	18.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	56,148	27,740	49.4	498.64
26年2月期	59,477	27,459	46.2	493.59

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 27,740百万円 26年2月期 27,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.0	—	16.0	16.0
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.0	—	16.0	16.0

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 26年2月期年間配当金の内訳 普通配当14円00銭 特別配当2円00銭

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	6.2	2,200	△3.3	2,250	△1.1	1,300	20.0	23.37
通期	103,000	4.7	4,700	9.0	4,800	9.5	2,800	51.7	50.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期1Q	59,948,294株	26年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	4,315,752株	26年2月期	4,315,752株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期1Q	55,632,542株	26年2月期1Q	55,834,712株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注高および売上高の状況	11
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は製作品別）の生産高、受注高および売上高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	25,983	30,455	4,472	17.2
営業利益	1,679	2,003	323	19.3
経常利益	1,735	2,074	339	19.5
四半期純利益	1,031	1,174	143	13.9

当第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年5月31日）のわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、緩やかな回復傾向にありましたが、4月に入り消費税増税前の駆け込み需要の反動が見受けられるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、お客様の視点に立ってお客様の事業繁栄を実現する「プロスペリティ・パートナー」への進化を追求するとともに、新中期経営計画（平成27年2月期～平成29年2月期）に則り、「ナンバーワンの価値の連鎖」をテーマに、お客様への提供価値の向上を目指してまいりました。

当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高が304億55百万円（前年同期比17.2%増）と堅調に推移するとともに、利益面におきましては、売上高の増加に加え、採算を重視した受注の徹底や原価低減への継続した取り組みなどが寄与し、営業利益は20億3百万円（前年同期比19.3%増）、経常利益は20億74百万円（前年同期比19.5%増）、四半期純利益は11億74百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

なお、当社は、当第1四半期連結会計期間において、㈱乃村リテールアセットマネジメントの全株式を譲渡したため、同社を当社の連結の範囲から除外しております。これにともない、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントは、ディスプレイ事業および飲食・物販事業となっております。

①ディスプレイ事業

景況感に回復の兆しが見られるなか、ファストファッションを含むアパレル関連店舗の出店や改装が相次ぎ専門店市場が堅調に推移したほか、観光客の増加を見据えたホテルやアミューズメント施設のリニューアルを手掛けた余暇施設市場、ブライダル施設やオフィスの環境演出を手掛けたその他市場が大幅に増加いたしました。

この結果、ディスプレイ事業の売上高は298億7百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益19億19百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

（単位：百万円）

概 要		売 上 高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	ファストファッションなどのアパレル関連店舗の内装制作やモバイル関連店舗の什器制作等	11,764	12,666	902	7.7
百貨店・量販店市場	首都圏や地方都市における百貨店のリニューアル等	1,411	2,100	688	48.8
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	再開発にともなう駅周辺の商業施設における空間演出等	1,951	2,435	484	24.8
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	大手電機メーカーのショールームや地下鉄工事におけるインフォメーション施設の展示製作等	4,216	4,075	△141	△3.3
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	環境や科学、歴史に関する施設の展示制作、指定管理者制度 ^(注) にもとづく施設の管理・運営等	2,137	2,377	239	11.2
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテインメント施設、動物園、水族館等)	ホテルやアミューズメント施設のリニューアル等	2,044	2,777	733	35.9
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイベント等	297	194	△102	△34.4
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、ブライダル施設、サイン、モニュメント等)	ブライダル施設の建築やオフィスの環境演出等	1,556	3,179	1,623	104.3
ディスプレイ事業		25,379	29,807	4,427	17.4

(注) 指定管理者制度：地方公共団体やその外部団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されている。

②飲食・物販事業

「江戸東京博物館ミュージアムショップ」（東京都墨田区）や「フレームカフェ」（東京都港区）などの既存店舗の他、昨年12月に羽生パーキングエリア「鬼平江戸処」（東北自動車道／埼玉県羽生市）内にオープンした飲食、物販の各店舗運営などを手掛け、売上高は6億48百万円（前年同期比33.7%増）、営業利益は1億3百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、561億48百万円(前連結会計年度末比33億29百万円減)、負債は284億7百万円(前連結会計年度末比36億9百万円減)、純資産は277億40百万円(前連結会計年度末比2億80百万円増)となりました。

総資産は、現預金が大幅に増加いたしました。期末未成案件の完了によりたな卸資産が減少しております。また、㈱乃村リテールアセットマネジメントの株式譲渡にともない同社が保有していた土地および建物等の固定資産が減少しております。

負債は、事業構造改革費用引当金の取り崩しや、大型案件の完了により前受金が減少しております。

純資産は、配当金の支払いがありましたが、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.2%から49.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月8日付「平成26年2月期 決算短信[日本基準]（連結）」で開示いたしました平成27年2月期の第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。なお、通期連結業績予想につきましては、変更はありません。詳細につきましては、本日（平成26年7月8日）公表の「平成27年2月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、㈱乃村リテールアセットマネジメントの所有株式を全て譲渡したことにより同社を当社の連結子会社から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,181	15,697
受取手形及び売掛金	16,327	16,115
たな卸資産	8,652	6,425
繰延税金資産	1,508	1,096
その他	1,848	746
貸倒引当金	△29	△30
流動資産合計	37,488	40,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,252	9,959
土地	9,757	5,526
その他	1,748	1,763
減価償却累計額	△6,921	△6,428
有形固定資産合計	16,837	10,820
無形固定資産	874	1,051
投資その他の資産		
投資有価証券	2,763	2,809
その他	1,870	1,780
貸倒引当金	△357	△365
投資その他の資産合計	4,277	4,224
固定資産合計	21,989	16,097
資産合計	59,477	56,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,584	16,026
短期借入金	208	199
未払法人税等	1,307	853
前受金	3,620	2,650
賞与引当金	813	1,312
工事損失引当金	86	67
事業構造改革費用引当金	895	-
その他の引当金	85	89
その他	2,842	2,102
流動負債合計	26,443	23,301
固定負債		
退職給付引当金	3,764	3,833
その他の引当金	83	87
その他	1,725	1,185
固定負債合計	5,573	5,106
負債合計	32,017	28,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	14,326	14,611
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	26,594	26,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	257
土地再評価差額金	482	482
為替換算調整勘定	148	122
その他の包括利益累計額合計	865	861
純資産合計	27,459	27,740
負債純資産合計	59,477	56,148

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成25年3月1日 至平成25年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成26年3月1日 至平成26年5月31日）
売上高	25,983	30,455
売上原価	21,729	25,640
売上総利益	4,254	4,814
販売費及び一般管理費	2,574	2,811
営業利益	1,679	2,003
営業外収益		
受取利息	2	10
受取配当金	4	5
仕入割引	19	19
複合金融商品評価益	14	0
還付加算金	—	15
その他	17	23
営業外収益合計	57	74
営業外費用		
支払利息	0	3
投資不動産管理費用	1	—
その他	0	0
営業外費用合計	2	3
経常利益	1,735	2,074
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	79	—
特別利益合計	79	1
特別損失		
固定資産除売却損	8	4
減損損失	38	—
特別損失合計	46	4
税金等調整前四半期純利益	1,768	2,071
法人税等	737	897
四半期純利益	1,031	1,174

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
四半期純利益	1,031	1,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	286	22
為替換算調整勘定	45	△25
その他の包括利益合計	331	△3
四半期包括利益	1,362	1,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,362	1,170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,379	119	484	25,983	—	25,983
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	3	6	11	△11	—
計	25,380	122	491	25,994	△11	25,983
セグメント利益	1,592	33	80	1,706	△27	1,679

(注) 1. セグメント利益の調整額△27百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ディスプレイ事業」セグメントにおいて、当社の子会社が保有する土地について売却を予定していることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(38百万円)として特別損失に計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,807	648	30,455	—	30,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	5	6	△6	—
計	29,808	653	30,462	△6	30,455
セグメント利益	1,919	103	2,023	△19	2,003

(注) 1. セグメント利益の調整額△19百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、(株)乃村リテールアセットマネジメントの全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。これにともない、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントは、ディスプレイ事業および飲食・物販事業となっております。

4. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注高および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	11,850	11,802
百貨店・量販店市場	1,901	1,636
複合商業施設市場	2,357	2,821
広報・販売促進市場	4,270	4,474
博物館・美術館市場	1,511	1,925
余暇施設市場	1,986	2,219
博覧会・イベント市場	265	100
その他市場	2,350	2,507
ディスプレイ事業 小計	26,494	27,487
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	26,494	27,487

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 生産高の金額は販売価格によっております。

3 不動産事業については当第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第1四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	10,544	7,055	10,784	7,509
百貨店・量販店市場	1,690	1,256	1,424	825
複合商業施設市場	1,105	3,549	3,123	3,308
広報・販売促進市場	4,551	5,319	4,984	5,393
博物館・美術館市場	4,466	4,875	2,919	4,868
余暇施設市場	1,031	3,654	1,818	2,294
博覧会・イベント市場	251	304	206	159
その他市場	1,276	2,970	1,910	3,037
ディスプレイ事業 小計	24,916	28,985	27,172	27,397
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	24,916	28,985	27,172	27,397

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 不動産事業については当第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第1四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	11,764	12,666
百貨店・量販店市場	1,411	2,100
複合商業施設市場	1,951	2,435
広報・販売促進市場	4,216	4,075
博物館・美術館市場	2,137	2,377
余暇施設市場	2,044	2,777
博覧会・イベント市場	297	194
その他市場	1,556	3,179
ディスプレイ事業 小計	25,379	29,807
(不動産事業)	119	—
(飲食・物販事業)	484	648
合計	25,983	30,455

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別 (ディスプレイ事業は制作品別) の生産高、受注高および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	11,100	12,500
展示制作	4,922	6,099
環境演出制作	868	1,120
販促品制作	158	322
企画・設計・監理	3,005	1,933
その他	6,439	5,511
ディスプレイ事業 小計	26,494	27,487
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	26,494	27,487

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 生産高の金額は販売価格によっております。
3 不動産事業については当第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第1四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載していません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	7,149	10,831	9,927	9,348
展示制作	5,010	5,940	5,071	6,594
環境演出制作	687	914	973	1,635
販促品制作	397	288	1,702	1,427
企画・設計・監理	2,641	4,393	2,833	4,539
その他	9,030	6,616	6,662	3,852
ディスプレイ事業 小計	24,916	28,985	27,172	27,397
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	24,916	28,985	27,172	27,397

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 不動産事業については当第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第1四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	10,551	14,226
展示制作	4,406	5,433
環境演出制作	787	1,122
販促品制作	125	313
企画・設計・監理	2,991	2,003
その他	6,517	6,707
ディスプレイ事業 小計	25,379	29,807
(不動産事業)	119	—
(飲食・物販事業)	484	648
合計	25,983	30,455

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。